

指定管理業務運営状況評価表

所管課	福祉課
評価日	令和5年6月1日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日（4年目）

1. 指定管理者の概要

施設名称	藤岡市障害者就労支援センター 藤岡市生活介護センター	評価 ランク	評価内容
所在地	藤岡市下栗須873番地1	S	仕様書、協定書等で定められた水準以上
指定管理者	社会福祉法人 かなな会	A	仕様書、協定書等で定められた水準に達している
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日	B	仕様書、協定書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障はない
選定方法	公募	C	仕様書、協定書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要

2. 施設の運営について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備考
施設設置目的との整合性	施設の設置目的に沿って運営されている	現地、書類	A	障害者の介護と創作的活動及び生産活動の場、また自立生活が営めるよう就労に必要な能力向上の訓練の場を提供し、障害者の生活を支援する目的を果たされている。
平等利用	特定のものに有利あるいは不利な取り扱いをしていない	現地、書類	A	全ての利用者に対し一律に公平なサービスの提供が実施されている。
自主事業	利用者のニーズに合った事業の実施など、サービスを向上させる取組みを実施している	現地、書類	A	利用者の支援ニーズに合わせた事業を組み立て、細やかな支援サービスが実施されている。
経理状況	施設の管理運営に係る経理の内容は適切である	現地、書類	A	事業収益の安定確保のため、新たな依頼元の開拓し工賃収益を拡充するほか、支出削減に努め増益となった。
収支状況	経営状況等に問題はない	現地、書類	A	コロナの影響により利用者が一時的に減少したが回復傾向にあり、約580万円の黒字決算となり安定した経営状況であった。
	経費削減のための努力をしている	現地、書類	A	経常的な光熱水費、消耗品費等の経費削減に努めた。
市や関係団体等との連絡体制	市や関係団体との連絡調整が、必要に応じて、適切に実施されている	現地、書類	A	各支援学校の卒業生における実習や見学の受入れでは、学校と調整を行い、要望のあったすべての生徒を受入れ、柔軟に対応している。
利用時間等の遵守	協定で定めた利用時間、利用日、利用期間が遵守されている	現地、書類	A	利用日等は、協定遵守に基づき運営されており、利用者人数と併せて月例報告書が適時、提出されている。
管理運営体制	安全で快適な施設運営ができるための人員が確保されている	現地、書類	A	人員設置運営基準、事業計画に基づき、利用者数に適した職員数を見直し、安定した利用者の見守りや支援が徹底できる体制を整え、施設の安全管理と安定したサービス提供が確保されている。
	協定で定めた人的サービスを、問題なく提供している	現地、書類	A	協定に基づき管理運営されている。
	労働管理規程等を整備し、従業者の適正な労働条件が確保されている	現地、書類	A	法令に基づいた体制が図られている。
	緊急時に迅速に対応できるよう、指揮命令系統が明確にされている	現地、書類	A	運営規定マニュアルを策定し、全職員に救命対応ができる指導・体制が図られ、防火訓練も行われている。

3. 施設によるサービスの提供について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備考
接遇	職員は仕事内容を十分に把握している	現地、書類	A	生活介護、就労支援サービスの提供内容を十分把握され、生活支援員ほか職員の教育が行き届いている。
	職員の接客態度に問題がない	現地、書類	A	利用者に対し、個々に合わせた接し方で良好に対応されている。
	接遇に関する研修を実施し、職員が内容を熟知している	現地、書類	A	外部主催の接遇研修等に参加するなど、障害者等との関わり方などのスキルアップに努められている。
利用者の満足度	アンケートの実施や意見箱の設置など、利用者の声を現場で聴取する取組がなされている	現地、書類	A	施設内に意見箱を設置しているほか、利用者家族からの意見や声にも傾聴の姿勢で対応されている。
	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされている	現地、書類	A	利用者の個性(特性)を把握し、改善すべき問題点やサービスの提供内容の検討がなされた。
苦情等への対応	苦情に迅速かつ適切に対応している	現地、書類	A	苦情が発生した場合、所長・班長など担当支援員において、迅速かつ真摯に対応できる体制を作っている。R4年度の苦情件数は0件。
	苦情等への対応時に市と指定管理者の責任者等間で、十分な連絡が取れるよう、体制が整っている。	現地、書類	A	苦情の発生時には、迅速に対応すると共に福祉課への報告(状況と改善)する体制が整っている。

様式 1

4. 施設の管理状況について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備考
施設・設備の維持管理状況	法定保守点検は、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されている	現地、書類	A	点検結果報告書等を確認。適切に実施されている。
	建物の保守管理が適切に行われている	現地、書類	A	点検結果報告書等を確認。適切に実施されている。
	エレベーター等の設備機器について、定期的に点検や安全確認を行っている	現地、書類	A	自動ドア、機械浴槽、各部屋の扉など、安全確保のため、職員が毎日点検をしている。
	点検によって、異常等が認められた場合、速やかに交換・修繕・調整等の適切な処置が実施されている	現地、書類	B	機械浴槽の一部動作不良が生じる報告あり。利用者に直接、不便を来すため、改善策について協議・指示した。
	備品について、備品台帳をもとに適切な管理がなされている	現地、書類	A	整理整頓され、適切に管理されている。
	清掃が適切に行われている	現地、書類	A	館内職員と利用者(生活訓練の一環)が共同して毎日、清掃しており清潔に管理されている。
警備体制	利用者の安全を保つため、必要な形態で実施されている	現地、書類	A	生活支援員(職員)が担当利用者を受け持っており、常時、利用者に接して、見守り・支援をされている。
	鍵の管理は適切である	現地、書類	A	所長のほか管理責任者を定め、責任を持って管理している。
	夜間等職員不在時の警備体制が明確化されている	現地、書類	A	警備会社に委託。
個人情報保護	個人情報を適切に保管している	現地、書類	A	利用者台帳等各種情報は、保管する場所全てに施錠管理が徹底されている。
	他の目的の為に、個人情報を収集又は使用していない	現地、書類	A	個人情報の取り扱いについては、全職員に対し指導が徹底されている。

5. 危機管理体制について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備考
事故等への対応	日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されている	現地、書類	A	運営規定マニュアルに基づき、適時、職員が担当の利用者を見守り、安全対策の徹底に努められている。
	緊急事態発生時の職員対応マニュアルが整備され、研修・訓練等が定期的に実施されている	現地、書類	A	運営規定マニュアルが整備されており、適時、職場内において点呼、対応の確認の共有が図れている。
	事件・事故等が発生した場合、市に遅滞なく連絡されている	現地、書類	A	速やかに市へ連絡する体制が整えられている。R4年度も異常・事故等の発生はなし。
災害時等への対応	災害時の対応体制が作られている	現地、書類	A	緊急時対応マニュアルを整備し、全職員に教育・周知がされている。防火避難訓練が実施されている。
	防火・防犯等の対応体制がつけられている	現地、書類	A	緊急時対応マニュアルを整備し、全職員に教育・周知がされている。
	災害時の避難誘導や、犯罪の通報等の研修・訓練がなされている	現地、書類	A	9月、3月に消防避難訓練を実施。3月では消防署立会いの下、消火訓練がなされている。

6. 総合評価(改善に向けた取組及び今後の方針等)

<p>長期化するコロナ禍の影響を受け、令和4年度利用者数は8,096人/年、前年度対比では約5%(実数436人/年)減数となった。日平均利用者数では、約34人/日、前年度と比較して-2人/日の減数となり、障害福祉サービスの法定報酬は減収となる。</p> <p>一方、就労賃収益では、受託作業の依頼元である企業を新規開拓をするほか、従前の受託事業の受注件数を増やせたことにより、工賃の増益を生み出した。最終的決算では、黒字決算となり、安定した事業運営が行われた。</p> <p>生活介護事業、就労支援事業ともに利用者ごとに寄り添った支援サービスを提供されており、利用者ニーズに応じた運営が実施されている。</p> <p>生活介護事業では、創作活動のほか外出訓練や理学療法による療法指導、音楽療法が実施され、一方、就労支援事業では、新規の発注元企業を開拓し、多種の授産作業を取り入れ、就労に必要な知識と能力訓練を実施され、障害者の社会参加及び自立生活を総合的に支援する本施設の事業目的は、大いに達成されたと評価できる。</p>
